

6. 伊勢の交通と商業の変遷に関して述べた次の文章を読んで、( )に入れる適切な地名、施設名をそれぞれ回答群から選び、記号で答えなさい。

現行の道路網は、大神都聖地計画をベースとし、太平洋戦争後の都市計画によって具現したものであるが、それ以前の道路網は次のようであった。宮川の上の渡しと下の渡しで山田へ入った街道は(61)で交わり、八日市場を経て外宮へ至る。外宮前からは、岡本、古市を経て内宮前に至った。一方、河崎と山田を結ぶ道路は、吹上、岩淵を経て外宮前に至るものと、鍛冶屋垣外、新道、高柳を経て筋向橋に至った。そして、鉄道が開通するまでの山田の商業の中心は、(62)水運と結びついた問屋町河崎と、八日市場を経て外宮前に至る街道筋が商業地区を構成した。

鉄道の開通により、人の流れは徐々に駅を中心としたものになっていき、太平洋戦争前には、盛り場として(63)が、小売商業地として(64)がそれぞれ山田の中心地を形成した。この流れは戦後も変わらず、盛り場の中心は(65)へ移ったが、新道は小売商業地として再生した。昭和40年代になると、伊勢市駅前に(66)などの大型店が出店、駅前が小売商業の中心地となった。

モータリゼーションの進展に合わせて、昭和50年、国道23号が海岸側に開通すると、ロードサイドへ専門店、飲食店が徐々に出店、昭和56年の(67)の開店は、中心商業地の移転を明確にした。このあと、市街地の空洞化が大いに進み、最近では高齢者の日常生活に齟齬をきたすまでになっている。

- |                |          |           |             |
|----------------|----------|-----------|-------------|
| (61) (イ) 二俣    | (ロ) 筋向橋  | (ハ) 中島    | (ニ) 堤世古     |
| (62) (イ) 宮川    | (ロ) 五十鈴川 | (ハ) 勢田川   | (ニ) 馬瀬川     |
| (63) (イ) 昭和通り  | (ロ) 新道通り | (ハ) 高柳通り  | (ニ) 桜通り     |
| (64) (イ) 昭和通り  | (ロ) 新道通り | (ハ) 高柳通り  | (ニ) 桜通り     |
| (65) (イ) 昭和通り  | (ロ) 新道通り | (ハ) 高柳通り  | (ニ) 桜通り     |
| (66) (イ) ジャスコ  | (ロ) アサヤ  | (ハ) ダイカイ  | (ニ) ミスタージョン |
| (67) (イ) 新ジャスコ |          | (ロ) ララパーク |             |
| (ハ) みそのベリー     |          | (ニ) ヤマダ電機 |             |

7. 伊勢の地場産業に関する説明の中で、それぞれ一つずつ間違いがあります。それを見つけて、その記号を答えなさい。

(68) 造船業

- (イ) 大湊の木造船建造の歴史は古く、14 世紀には、50 余艘の軍船を調えたと伝えられる。
- (ロ) 昭和 50 年頃には、最大 3,000t 級までの建造能力を有する 6 社が競合していた。
- (ハ) 関連産業として、釘の製造など鉄工業が栄え、菊川鉄工所などに、その技術が伝えられている。
- (ニ) 明治 29 年開校した造船学校は、現在も伊勢工業高校造船科に引き継がれている。

(69) 和紙製造業

- (イ) 山田での和紙の製造は、明治 4 年の御師制度の廃止をうけた殖産興業策として、大きく発展した。
- (ロ) 和紙の関連産業のうち、江戸期以来盛んであった「擬革紙」は、主に壁紙などのインテリアに使われていた。
- (ハ) 同じく和紙の関連産業に「山田傘」がある。これは、太平洋戦争後もしばらく製造された。
- (ニ) 現在、市内で和紙の生産を続けている工場として「大豊和紙工業」がある。

8. 次の二見浦に関する説明を読んで、( )に入る適語を各語群より選び、記号で答えなさい。また、その後の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

二見浦は五十鈴川の河口今一色の高城浜から東へ、打越浜、御塩浜、立石浜、神前崎に至る約 3.8km の浜をいう。古来、清渚として知られ、参宮客が垢離をとりに訪れたことから、早くより茶屋が立ち、その後、宿泊地として発展した。また、この地は日本最初の公認海水浴場でもあった。明治 36 年(1903 年)山田との間に路面電車が開通、また、明治 44 年(1911 年)国鉄(70)が開通すると、駅から(71)に至る間に、旅館、みやげ物店の並ぶ街が発達した。近年、自動車交通が主流となると、夫婦岩東方の江海岸が埋め立てられ、水族館を核とする観光施設ができ賑わっている。

- (70) (イ) 紀勢線      (ロ) 鳥羽線      (ハ) 参宮線      (ニ) 志摩線
- (71) (イ) 御塩殿神社 (ロ) 堅田神社      (ハ) 高城神社      (ニ) 興玉神社
- (72) 二見浦は指定文化財として登録されているが、区分上次のどれに該当しますか。  
(イ) 国指定天然記念物      (ロ) 県指定天然記念物  
(ハ) 国指定名勝      (ニ) 県指定名勝
- (73) 神苑会が、明治 20 年(1887 年)貴賓客接待のために建築した宿泊施設は、次のどれですか。  
(イ) 朝日館      (ロ) 二見館      (ハ) 賓日館      (ニ) 臨海楼
- (74) 江海岸にある観光施設の現在の名は、次のどれですか。  
(イ) 戦国時代村      (ロ) 安土桃山文化村  
(ハ) 二見シーパラダイス      (ニ) 夫婦岩パラダイス

9. 伝統工芸に関する次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

(75) 伊勢正直と呼ばれる匠が製作したものは以下のどれですか。

- (イ) 鳴りこま      (ロ) 煙草入      (ハ) 提灯      (ニ) 根付

(76) お蝶殿の手車と呼ばれたみやげ物を元祖とするといわれている玩具はどれですか。

- (イ) デンデンタイコ      (ロ) コマ  
(ハ) ケン玉      (ニ) ヨーヨー

(77) 「廉価にして堅固」伊勢春慶の箱物の特色でないものはどれですか。

- (イ) 指物      (ロ) 刳物      (ハ) 角コクソ      (ニ) 柿渋

10. 市内の建築物に関する次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

(78) 神宮農業館、神宮徴古館の設計を担当した人物を下記より選びなさい。

- (イ) 伊藤忠太      (ロ) 辰野真吾      (ハ) 白石円治      (ニ) 片山東熊

(79) 伊勢の町家の特徴である刻み囲いと呼ばれる外装材がありますが、その木材の樹種は普通どのようなものですか。

- (イ) 桧      (ロ) 榎      (ハ) 樺      (ニ) 杉

(80) 古市のかつての姿を伝える麻吉旅館は斜面に沿って建てられていますが、その構造様式は何と呼ばれますか。

- (イ) セガイ造り      (ロ) 懸樋造り      (ハ) 切妻造り      (ニ) 出し桁造り

11. 次の外宮前周辺に存在する施設、名所などの説明には、それぞれ一つずつ間違いがあります。それを記号で答えなさい。

(81) 茜社

- (イ) 山田産土神八社の一つで、古くは赤畝の社と呼ばれた。
- (ロ) 宝物の獅子頭（県文化財）には、永禄2年の銘がある。
- (ハ) 境内には赤い鳥居が林立するが、岐阜県のおちよぼ稲荷と深い関係がある。
- (ニ) 氏子は、主に豊川町、旭町、藤里町に在住している。

(82) 山田館

- (イ) 神宮参道は山田駅と外宮を結ぶ道路として明治38年(1905年)に開通した。
- (ロ) この道路にそって、木造3階、4階建ての旅館が櫛比するのは、大正から昭和初めにかけてであるが、山田館はその生き残りである。
- (ハ) 山田館は、東京深川の大工棟梁が出資して、自ら建築、昭和3年に開業した。
- (ニ) 外観は和洋折衷で、中心に唐破風のある玄関がある。

(83) ボン・ヴィヴァン

- (イ) 大正12年(1923年)に旧山田郵便局に付随した電話分室として作られた。
- (ロ) 設計者は新進気鋭の通信省建築技手の吉田鉄郎である。
- (ハ) 建物の縦長窓や、屋根の形、壁の色彩などは明らかに地中海風である。
- (ニ) 現在はフランス料理店が使用している。

12. 河崎に関して述べた次の文のそれぞれに 1 つずつ間違いがあります。間違いを選び、記号で答えなさい。

- (84) (イ) 河崎はさいわい太平洋戦争による戦災を免れ、切妻造りの妻入りの家や土蔵が通りに並ぶ景観が残された。  
(ロ) 家紋や屋号を入れた鬼瓦をいだいた屋根は、外向きの反りのあるものがほとんどで、美しい姿を示している。  
(ハ) また、家や土蔵は 1 尺の下見板を細い木で張り付けた外囲いで覆われていて、もとは煤と魚油で作られた防腐剤で黒く塗られていた。  
(ニ) 一方、川沿いには、全盛期の華やかさを伝える黒い土蔵群や船着場の名残が見られる。
- (85) (イ) 河崎は勢田川の水運を利用して、近世以来、物資集散の港町の役割を担い、山田の住民と参宮客に必要な台所として発達したが、参宮客の上陸地としても賑わった。  
(ロ) 平成 8 年、古い酒問屋であった小川邸をマンションに建て替える計画が持ち上がったが、ちょうど「伊勢市都市マスタープラン」がスタートしており、住民によるまちづくりが推進されることになった。  
(ハ) この中で、平成 11 年、市が小川邸の土地を買収、建物はまちづくり活動の拠点として寄付され、「河崎商人館」が具体化することになった。  
(ニ) そして、平成 12 年、民間団体「伊勢まちづくり衆」が設立され、平成 14 年、「河崎商人館」が開館した。酒問屋の建物とそこに残された歴史文化を次の世代に引き継いで行くための努力が続けられている。

13. 伊勢の風習に関する設問について、最も適切なものを選んで、記号で答えなさい。

- (86) 大人も子どもも皆が少額ずつ出し合って、田楽や萩の餅などを買って食べる風習「猫も三文」はいつですか。  
(イ) 3 月 20 日      (ロ) 8 月 21 日      (ハ) 9 月 15 日      (ニ) 11 月 8 日
- (87) 注連縄の木札に書くこともある道の神さまの名前「八衢比売神」は何と読みますか。  
(イ) ヤチマタヒコノカミ      (ロ) ヤオヨロズノカミ  
(ハ) ヤチマタヒメノカミ      (ニ) ヤチマタヒウリカミ

14. 二見文化誌に記載されている次の文「蘇民将来と巨旦将来」を読んで、設問に記号で答えなさい。

スサノオは根の国に行こうとして、ミタワの国まで来られたが、暴風雨にあって大変難儀をせられた。まず、巨旦に宿を乞うた。かれは富んでいたが、すげなく断った。

スサノオは、つぎに弟の蘇民の家を尋ねた。かれは貧乏であったが、喜んで迎え入れ、粟の飯でもてなした。スサノオは、食事のあと言った。「おいしかった。しかし、この味で占ってみると、アワサの国から、悪い病気が移ってくるようだ。早速家の周りに垣を作りなさい。」

蘇民は驚いた。この風雨のなか、兄も村人も早く戸を閉ざして寝てしまって、これを知らせることもできない。やっと自分の家だけ、カヤを刈って垣をこしらえた。

朝がくると、からりと晴れてよい日であったが、兄の巨旦も村人も、みんな死んでしまっていた。スサノオは出発にあたって、「家の入り口に蘇民将来子孫の家と書いた札を出しておくがよい。そうすれば悪い病気に罹らないであろう」といって立ち去った。

- (88) カヤで家の周りに垣をこしらえることと、直接的に意味が違うのは次のどれですか。

- (イ) 茅の輪を腰につける
- (ロ) 蘇民将来子孫の家の門符を入り口につける
- (ハ) 二見浦でミソギをする
- (ニ) 注連縄を張る

- (89) この話のスサノオは、別の民話では次のだれにあたりますか。

- (イ) 天照大神
- (ロ) 牛頭天王
- (ハ) ヤマトタケル
- (ニ) ニニギノ尊

15. 次の言葉は、この地域で使われてきたものですが、私たちの生活のどのような状態を示す言葉でしょうか。下記の分類の中から、それぞれ妥当と思われるものを選んで、記号で答えなさい。

分類 (イ) 食品の状態を示す (ロ) 時間の経過を示す  
(ハ) 数量、計量の状態を示す (ニ) 人間の動作を示す

(90) ちょける (イ) (ロ) (ハ) (ニ)

(91) こわしない (イ) (ロ) (ハ) (ニ)

16. 伊勢独特のことばとして、明治維新まで、多くの忌みことばが使われていました。次のことばはどのように言い表してきましたか。正しいものを回答群の中から選んで記号で答えなさい。

(92) 寺  
(イ) 拝所 (ロ) 瓦葺 (ハ) 伽藍 (ニ) 客座

(93) 死ぬ  
(イ) 活気 (ロ) 旅行 (ハ) 花実 (ニ) 奈保留



17. この地域の道路に関する次の説明に一つずつ間違いがあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(94) 御木本道路

- (イ) 昭和10年代に、外宮と内宮を結ぶ第2の道路として、いわゆる神都計画の中で計画された。
- (ロ) 昭和14年の街路の都市計画決定においては、人と自転車専用の公園道路として計画されている。
- (ハ) 昭和21年御木本幸吉が米寿の祝いとして50万円の資金を提供したので、これを基金として、事業が進められた。
- (ニ) 延長3.5km、中間点に伊勢自動車道乗降口が設置された。

(95) 伊勢道路

- (イ) 宇治館町と志摩市磯部町川辺とを結ぶ15.2kmの道路である。
- (ロ) 古くから志摩の物産を伊勢へ運ぶルートとして利用され、逢坂越えと呼ばれた。
- (ハ) 五十鈴トンネルと志摩路トンネルを掘削して、昭和40年に開通し、当初は有料であったが、平成5年ご遷宮の年に無料になった。
- (ニ) 島路川の溪谷にそうため、春秋は樹木が美しい観光道路である。

18. 市内を流れる川には別名のあるものが多い。別名はそれなりに、由来がわかるなど興味が深い。下記の設問の川の別名は、それぞれどの川の名か、記号で答えなさい。

(96) 昔、倭姫命が御裳の裾を濯ぎ給うたことから御裳濯（みもすそ）川という。

- (イ) 宮川                      (ロ) 五十鈴川                      (ハ) 勢田川                      (ニ) 汁谷川

(97) 伊勢神宮に献上する魚を獲ったので御贄（おんべ）川といった。

- (イ) 五十鈴川                      (ロ) 勢田川                      (ハ) 汁谷川                      (ニ) 外城田川

(98) 離宮院に沿って流れているので、離宮川と呼んだ。

- (イ) 汁谷川                      (ロ) 外城田川                      (ハ) 宮川                      (ニ) 五十鈴川

19. おはらい町、おかげ横丁に関する下の説明のうちに、それぞれ一つずつ間違いがあります。それを指摘し、記号で答えなさい。

(99) おはらい町

- (イ) 参宮街道の最終地点、内宮前に続く約 800mが「おはらい町」である。
- (ロ) 明治以前には、宇治橋の東まで民家が續いていた。
- (ハ) 江戸期には、御師の家々が立ち並び、御師が授与したお札を「お祓い」と呼んだことから、町の名がついたといわれる。
- (ニ) 町並み再生に住民が腰をあげ、内宮門前町再開発委員会を結成したのは、第 60 回式年遷宮（昭和 48 年）の直前であった。

(100) おかげ横丁

- (イ) 平成 5 年（1993 年）に内宮前、おはらい町の一郭を整備して造られた。
- (ロ) 伊勢路の代表的な建物を移築したり、再現したりして、伊勢の原風景に出会える町をめざしている。
- (ハ) おかげ座では、役者による芝居、伊勢音頭が上演されて、往時の雰囲気盛り上げている。
- (ニ) 老舗の味や県内の名産品、懐かしい物産が買える店を集め、幅広い層から支持を得ている。